

令和元年度災害廃棄物対策東北ブロック協議会 人材育成事業 今後の取り組み

【宮城県 青森県 秋田県 山形県 福島県 岩手県】

資料 3-3

『災害廃棄物対応時の初動の重要性を再確認すること、危機意識の向上が目的』

◎開催時期（予定）

【1回目】1月中旬

【2回目】1月下旬

※開催場所は2回とも秋田県庁を予定

◎内容

【1回目】

・県内での災害廃棄物処理事例について（大仙市による講義を予定）

・ワークショップ討論型（情報収集・伝達、仮置場開設等について）

【2回目】

図上演習（内陸型水害を想定した仮置場選定、苦情対応、処理体制（産廃処理施設の利用も含む）等について）

『県庁内の関係職員、基礎自治体の意識の醸成が目的』

◎開催時期（予定）

【1回目】5月（山形県独自で講習会を開催済）

【2回目】8月（山形県独自で市町村へ計画策定支援の研修会を開催済）

【3回目】調整中

◎内容

計画策定から初動までを対象とした講習・ワークショップ・図上演習を行う複合型研修の実施を検討。東北地方環境事務所が計画する初任者研修とリンクして実施。今後、県の独自研修と本人材育成事業を立体的に展開予定。

『基礎自治体の意識の醸成が目的』

◎開催時期（予定）

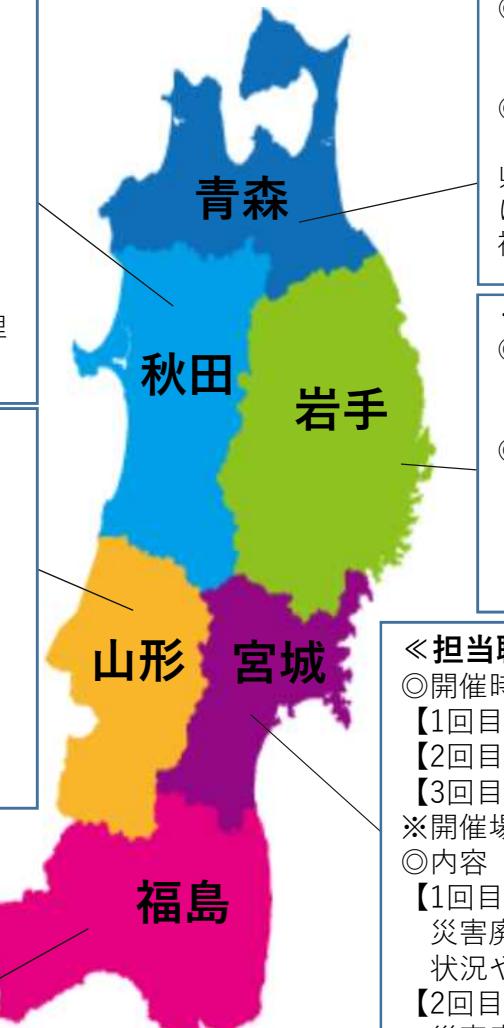
【1回目】11月

【2回目】時期は調整

※開催場所は三春交流館「まほら」を検討。

◎内容

計画策定から初動までを対象とした講習・ワークショップ・図上演習を行う複合型研修の実施を検討。東北地方環境事務所が計画する初任者研修とリンクして実施。



『基礎自治体の意識醸成及び災害廃棄物処理に関する基礎的知識習得を目的とする』

◎開催時期（予定）

【1回目】11月（青森市内）※地域性を考慮

【2回目】12月（青森市内）※地域性を考慮

◎内容

1回目前半（午前中を想定）の時間に被災自治体による講義（県主催・講師は県が招聘）、1回目後半（午後を想定）及び2回目の時間に、発災前から発災後にかけての諸課題に関するワークショップ・図上演習を段階的・体系的に行う複合型研修の実施を検討。

『基礎自治体の意識の醸成が目的』

◎開催時期（予定）

12月～2月上旬で、4回の実施を検討。

（地域性を考慮：盛岡市、奥州市、久慈市、大船渡市）

◎内容

計画策定から初動までを対象とした講習・ワークショップ・図上演習を行う複合型研修の実施を検討。東北地方環境事務所が計画する初任者研修とリンクして実施。

『担当職員の災害廃棄物処理の知見を高めることが目的』

◎開催時期（予定）

【1回目】8月8日（木）開催済（宮城県独自開催）

【2回目】11月5日（火）（県・国で共催）

【3回目】1月27日（月）（業者に委託）

※開催場所は3回とも宮城県庁を予定

◎内容

【1回目】

災害廃棄物処理に関する講義、討論型演習、全国の災害廃棄物処理計画策定状況や掲載HP・国モデル事業の紹介・交付金の活用の紹介（宮城県独自開催）

【2回目】

災害廃棄物処理に関する講義、設問型演習
(国の災害廃棄物処理に関する最新情報の提供)

【3回目】

対応型演習（業者に委託）